

札幌パートユニオン

第2回学習会 “戦後80年 二度と戦争を起こさせない”

会長 大木範夫

80年前長崎で被爆した

宮本須美子さんの被爆体験や その思いをみんなで聞こう！

<宮本須美子さんの紹介>

みやもと すみこさん 1937年、名古屋市生まれ。札幌市厚別区在住。夫の転勤で北海道に住み、北海道被爆者協会（今年3月解散）の理事を経て、後継団体の北海道被爆者連絡センターの代表理事に就任。昭和20年（1945年）に名古屋で空襲に遭い、父親を失う。母方の実家の長崎へ避難し、同年8月9日に長崎で原爆を体験。父方の実家に疎開する時に爆心地を通過して被爆した。

あの忌まわしい広島・長崎への原爆投下から80年たちました。

昨年ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会の代表委員、田中さんは、今のロシアのウクライナ侵略や、イスラエル軍によるパレスチナ自治区ガザへの攻撃などについて、「すぐにでも核兵器が撃たれる可能性がある。のんびりしてはおられない」と危機感を訴えています。

今回札幌パートユニオン第2回学習会では、自らも長崎で被爆され「二度と被爆者を作らない、広島・長崎を最後の被爆地に」と核兵器廃絶を訴え運動している北海道被爆者連絡センター代表理事、宮本須美子さんの被爆体験やその思いなど貴重なお話を聞かせてもらいたいと思います。

組合員の皆さんは、是非参加してください。

日時 10月18日（土）14時から

場所 ほくろうビル4F地区ユニオン会議室

内容 宮本須美子さんのお話と交流

出席する人は10月15日（水）までに

大木携帯（090-8896-0831）に連絡をお願いします